

平成27年6月開催

第3回福岡市議会(定例会)にて質問致しました。

1 投票率向上について



この春に行われた統一地方選挙での福岡市の投票率が低下しました。もっと期日前投票所を増やすなど、今後の打開策としての取り組みと、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことへの福岡市選挙管理委員会の取り組みについてお尋ねします。

答え

他都市では大学に期日前投票所を設置するなどの事例があります。福岡市役所1階の期日前投票所は7区に分けて設置し、二重投票防止などのための専用回線の設置や選挙事務に精通した職員の配置など設置費用は約550万円。投票に行かなかった人へのアンケート調査では、①適当な候補者がいない、②選挙に関心がない、③候補者の違いが分からない、といった理由が上位でした。のことから常日頃から効果的な啓発を重ねていくことが大切です。投票率の低い、若年層の意識向上に向けた取り組みが大切であり、学校への出前授業や模擬投票などの取り組みをさらに充実していく予定です。

2 ポートレース福岡の集客について



ポートレース福岡は、利益の一部を福岡市の一般会計へ繰り出しているが、26年度はいくらか。今後の売り上げ向上の取り組みや、クルーズ船で多くの外国人が来福し、免税店などで爆買いをしていると聞くがぜひともポートレース福岡にも足を運んでほしいと思うがその取り組みについてお尋ねします。

答え

ポートレース福岡は毎年、市の一般会計へ利益を繰り出しています。その財源は小中学校や保育所整備などの貴重な財源です。平成22年は9億円、23年は8億円、24年は11億円、25年は13億円、そして26年は15億円。今後、都心から徒歩15分という地の利を生かしてSGレースの開催や若い年代の新規開拓、外向け発売所の増築や機能拡充などに取り組む予定です。また、外国人から認識されやすいように「競艇」から「ポートレース福岡」に名称変更し、韓国、台湾をはじめ東アジアからの観光客を誘客することは観光都市・福岡の新たな魅力づくりという観点から重要と考えています。今後、外国人団体客に対応したスペースの整備や外国語での案内ができる人材を配置する予定で、エンターテイメント施設として安心して遊べるレジャースポットを目指していきます。

3 福祉避難所について



要援護者は市内に何人おられるのか。また、福祉避難所は市内にいくつあるのか。もし災害が起こったと仮定したら、要援護者の方はまずどこに行けばいいのか。福祉避難所の受け入れ体制や、運営マニュアルなどの不備があるを聞いていますが、お尋ねします。

答え

災害時要援護者台帳登録者数は、平成27年3月現在、高齢者12,413人、障がい者5,277人、合計17,690人。福祉避難所は、特別養護老人ホームが35カ所、障がい者関係施設が39カ所あります。災害が発生した時点で、すべての要援護者は公民館等の一次避難所に避難してもらったり上で必要に応じて二次避難所である福祉避難所に移ってもらうことになります。直接、福祉避難所に行くような設定にはなっていません。運営マニュアルについては高齢者施設、障がい者施設とも現場の施設職員を含めた体制で作成した素案を基に検討を行っているところです。

あなたのご意見をお聞かせください。 Tel.092-501-0210 Fax.092-501-0222
はまさき太郎事務所 E-mail gogotaro0410@yahoo.co.jp



4 市有財産の有効活用について



現在、市の保有する資産の有効活用の取り組み状況についてお尋ねします。また同じく市有財産で千代にある「博多せんじょう」は近年、空き店舗が多い。本来、家賃収入が市に入る予定だが入っていないので、見方を変えれば市民に損害を与えるとも言える。また市有財産は「公募」となるが、この公募システムは非常に時間がかかる。公募に至るまでが4カ月、公募期間が3カ月、落札者が決まって契約まで2カ月、それから建築や改装となるとオープンまで1年以上は費やす。これでは昨今のコンビニやドラッグストアの出店のスピードについていけない。システムなどを変更し、以前のような活気溢れた商店街となるよう、何か施策が必要と思うが、ご所見を尋ねます。



はまさきのコメント

博多せんじょうは天神博多駅からとても近く、昔ながらの市場的な雰囲気があり、おいしい食材がたくさん売っていましたが、時代の流れでしょうか、現在は空き店舗が目立ちます。でも対面販売の元祖で在り、買い物の楽しさを感じれる場所です。今からしていく時代に回帰していくと私は感じています。商店主のみなさんもみんなで頑張りましょう。

答え

市有財産は市民から負託を受けた貴重な経営資源と認識し、最適な手法で効果的に活用し、財源を保っていくことは重要である。「福岡市財産有効活用プラン」に基づき、全庁あげて未利用地の活用や多様な手法により財産の有効活用に取り組んでいきます。「博多せんじょう」について、商業協同組合と協力しながら既存店との相乗効果が見込める業態を検討するとともに、公募なども含めた効果的なやり方について幅広く検討していきます。

5 道路の車道と歩道の境に設置されている柵について



近ごろ、歩道を歩いている歩行者を自動車がはねてケガをさせる事故をよく目にします。もしガードレールがあれば回避できたのではといつも心が痛みます。また、細い支柱で出来ている横断防止柵は非常に強度も弱く、歩行者を守れない感じています。そこで、ガードレールや横断防止柵などの設置の考え方についてお尋ねします。

答え

ガードレールについては歩行者の通行が多い区間や道路の見通しが悪いカーブ区間など、道路状況等を勘案し設置することとしています。横断防止柵は通学路に指定された区間や、人が集まる駅、公園等の周辺で車道を横切ることを防止する区間などに設置しています。ガードレールについては道路線形や沿道環境など個々の状況を調査したうえ、設置する必要性や種類について地域住民へも十分説明を行うとともに地域の要望も踏まえ交通管理者と協議を行いながら決定をしていきます。



はまさきのコメント

どういう状況でどのような防止柵を設置するのかという、明確な基準がはっきりしません。事故による歩行者への被害を防ぐことが大切だと思います。特に通学路では危険の可能性がある道路には子どもたちを守る為、ガードレールが設置されるべきです。皆さんも不安感じる道路があればぜひ浜崎までご一報ください。

平成27年3月開催 条例・予算特別委員会にて
以下の4項目についても質問致しました。



- 介護人材不足について
- 中洲のネオンについて
- 日本銀行福岡支店建て替えについて
- 雑餉隈駅付近連続立体交差事業とまちづくりについて

質問の内容は、ホームページに記載しています。是非ご覧下さい



私がこれまで勉強してきたこと

- 現福岡市立三筑中学校(母校)PTA会長
- 前福岡市立那珂南小学校(母校)PTA会長
- 福岡市民間障がい施設協議会副会長
- 博多消防団雑餉分団員
- 銀天町商店街振興組合顧問
- 街おこし「よござっしょ」実行委員長
- 那珂南ソフトボール愛好会事務局長
- 2004年度 社団法人福岡青年会議所副理事長

子どもたちや次の世代の人たちへも、よりよい社会を引き継いでいくことが出来ると感じています。これからも皆様方からたくさんのご意見や情報提供を頂きたいと思っています。

ホームページ「はまさき太郎」で検索してください。ブログ、毎日(ほぼ)更新中!!
<http://www.hamasakitaro.com/> はまさき太郎 検索

